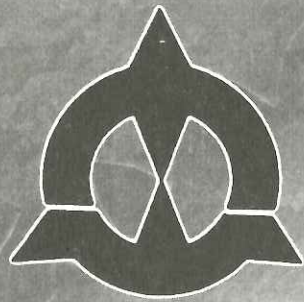




勝山市のすかいた

平成12年



福井県勝山市

は し が き

ここに平成12年版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、教育、福祉など市民生活の各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録したものです。本書が各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に努めましたが、なお不備な点があるかと思えます。今後とも各方面からご指導をいただき、より一層内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供並びにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成12年9月

勝山市長 今井三右衛門

凡 例

1. 本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものです。
2. 本書はできるかぎり最新の統計資料を主として収録し、比較対照のため過去の資料も合わせて掲載してあります。
3. 資料は官公庁、各種団体、企業及び市役所内各課からの提供・報告又は企画課において統計資料から直接収集したものです。
4. 資料の出所名は各表の右下に掲げ、年次、年度、表中の数字の単位は表の右上に掲げましたが、一見して明らかなものは省略してあります。
5. 数字の単位未満は四捨五入しましたので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。
6. 統計表中「年次」又は「年」とあるのは年間（1月～12月）、「年度」とあるのは年度間（4月～翌3月）を示しています。
7. 統計表中の符号の用途は次のとおりです。
 - 「－」 … 皆無又は該当数字なし
 - 「…」 … 不詳
 - 「×」 … 1又は2の事業所に属する数を秘匿としたもの
 - 「△」 … 減少
8. 本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合及び疑義のある場合には、各表ごとにある各資料出所機関又は企画課に照会してください。
9. 市内の地区割については、特に注意書きがなければ公民館の区域割によるものとします。

目 次

1. 市制施行及び市章の説明	1	25. 市職員数	23
★自 然		26. 選挙投票状況	24
2. 地 勢	1	27. 地区別基本選挙人名簿登録者数	24
3. 位 置	1	28. 議会活動状況	
4. 土 地	1	(1) 本会議の状況	26
5. 沿 革	2	(2) 委員会等の状況	26
位置図	3	(3) 付議事件の処理状況	26
6. 面 積	3	29. 請願陳情処理状況	26
★歴 史		30. 歴代市議会議長及び副議長	27
7. 勝山市の歴史	4	★財 政	
★市民生活	12	32. 一般会計予算(当初)	28
★気 象		33. 一般会計歳入歳出決算	28
8. 気象の概況	14	34. 特別会計等予算(当初)	29
9. 過去の気象最高(低)記録	15	35. 特別会計等歳入歳出決算	29
10. 寒候期年別最深積雪	15	36. 市税負担状況	30
11. 月別平均気温・降水量の準平年値	15	37. 市税の納税者数	30
★世帯と人口		38. 市有財産の状況	30
12. 世帯数と人口	16	★教育文化	
13. 地区別世帯数及び人口	17	39. 教育委員	31
14. 人口動態	17	40. 教育委員会事務局機構	31
15. 人口動態の推移(グラフ)	18	41. 学校別児童生徒数	
16. 年齢別(5歳階級)人口	19	(1) 年次別	31
17. 産業分類別・従業上の地位別就業者	20	(2) 男女別(高等学校を含む)	31
18. 人口集中地区(D I D)	20	42. 中学校卒業状況	32
19. 通勤・通学別流出口(15歳以上)	21	(1) 年次別	32
20. 通勤・通学別流入人口(15歳以上)	21	(2) 進路別	32
21. 昼間人口	21	43. 学校の教職員・生徒児童数	32
★行 政		44. 高等学校卒業状況	32
22. 歴代市長	22	45. 幼稚園の幼児数・教職員数等	33
23. 歴代助役	22	46. 幼稚園年齢別幼児数	33
24. 歴代収入役	23	47. 公民館	33
		48. 市立図書館	33
		49. 勝山市の文化財	34
		50. 勝山市の文化財分布図	36

★農 業

- 51. 農家戸数と人口…………… 37
- 52. 農家人口と就業状態…………… 37
- 53. 家畜飼養農家と家畜、家きん頭羽数…………… 37
- 54. 3類1等裸米政府売渡価格の推移…………… 37
- 55. 年次別産米売渡数量…………… 38
- 56. 専業・兼業農家数の推移（グラフ）…………… 38
- 57. 経営耕地面積…………… 38
- 58. 経営耕地面積別農家数の推移（グラフ）…………… 38
- 59. 地区別農産物販売別農家数…………… 39
- 60. 地区別農用機械所有台数…………… 39
- 61. 地区別農業の状態…………… 40
- 62. 作物別収穫（栽培）面積…………… 40
- 63. 圃場整備事業…………… 41
- 64. 農村集落排水事業
 - (1)計画概要…………… 42
 - (2)整備状況…………… 42

★林 業

- 65. 保有山林面積規模別農林家数…………… 43
- 66. 林野総面積…………… 43
- 67. 造林伐採面積…………… 43
- 68. 地区別山林面積…………… 44
- 69. 林産物…………… 44

★事業所

- 70. 産業分類別事業所数・従業者数の推移…………… 45
- 71. 規模別産業大分類別事業所数及び従業者数…………… 45
- 72. 市別事業所数及び従業者数等…………… 46
- 73. 産業別就業人口…………… 48

★工 業

- 74. 工業の推移…………… 50
- 75. 産業分類別工業の概況…………… 50
- 76. 市町村別繊維産業製造品出荷額等…………… 51
- 77. 繊維産業業種別企業分布状況…………… 52
- 78. 県内地域別・規模別設備状況
 - (1)広幅織物設備…………… 54
 - (2)撚糸設備…………… 54
 - (3)仮より設備…………… 56

★商 業

- 79. 商業の実態…………… 57
- 80. 従業者規模別商店数…………… 57
- 81. 商業集積地区別商店数及び従業者数…………… 57
- 82. 県下7市の産業の概況…………… 58

★市民所得

- 83. 市民所得概況…………… 60
- 84. 1人当たりの市（県・国）民所得…………… 60
- 85. 市民所得関連指標…………… 60
- 86. 主要項目別分配所得…………… 61
- 87. 産業別市内純生産…………… 61

★社 会

- 88. 生活保護の状況…………… 62
- 89. 市営住宅…………… 62
- 90. 年次別共同募金高…………… 62
- 91. 歳末たすけあい配分状況…………… 63
- 92. 共同募金配分状況…………… 63
- 93. 心配ごと相談…………… 63
- 94. 市社協結婚相談…………… 63
- 95. 国民年金加入状況…………… 63
- 96. 国民年金（拠出）受給状況…………… 63
- 97. 国民年金（福祉）受給状況…………… 64
- 98. 教育福祉会館の施設…………… 64
- 99. 教育福祉会館利用状況…………… 64
- 100. 市民会館の施設…………… 65
- 101. 市民会館利用状況…………… 65
- 102. 保育園の状況…………… 66
- 103. 児童センターの状況…………… 66
- 104. 高齢者の状況…………… 68
 - 付表. 介護保険における要介護認定の判定結果…………… 68
- 105. ヘルパー数の推移（グラフ）…………… 69
- 106. 在宅福祉利用状況…………… 69

★保健衛生

- 107. 国民健康保険加入状況…………… 70
- 108. 国民健康保険税収納状況（現年分）…………… 70
- 109. 国民健康保険税負担額及び給付費用状況…………… 70

110. 国民健康保険加入者1人当たりの医療費と 保険税(グラフ)	71
111. 環境衛生施設数	71
112. 医療関係施設	71
113. 健康診査受診状況	72
114. 医療関係者	72
115. 予防接種の状況	72
116. 死因別死亡者数	73
117. ごみ処理状況	74
118. 資源化物回収状況	74
119. 人口・世帯別ごみ搬出量	74
120. 合併処理浄化槽設置整備状況	75

★警察・消防

121. 刑法犯罪の発生・検挙の状況	76
122. 交通事故(人身事故)	76
123. 月別交通事故発生状況(人身事故)	76
124. 運転者年齢別交通事故 発生状況(人身事故)	77
125. 消防機構	77
126. 消防職員の現況及び配置	77
127. 無線通信施設(超短波)	78
128. 消防団員の現況及び配置	78
129. 救急救助用器具保有数	78
130. 消防車輛等の保有数	79
131. 消防水利現況	79
132. 火災件数	79
133. 救急出動件数	79

★生活環境

134. 交通災害共済年度別状況	80
135. 交通安全施設の状況	80
136. 公害発生施設届出状況	
(1) 大気汚染防止法による ばい煙発生施設	81
(2) 大気汚染防止法による粉じん発生施設	81
(3) 水質汚濁防止法による特定事業場	81
(4) 福井県公害防止条例による悪臭に係る 届出状況	81

(5) 福井県公害防止条例による地下水採取 届出状況	81
(6) 騒音規制法による届出状況	82
(7) 振動規制法による届出状況	82

★建設

137. 道路の状況	83
138. 国道整備状況	83
139. 主要地方道整備状況	83
140. 一般県道整備状況	84
141. 市道整備状況	84
142. 橋梁の状況	85
143. 普通世帯住居の種類・住宅の 所有関係別住居の状況	85

★都市計画

144. 都市計画用途地域	86
145. 防火地域	86
146. 都市計画道路	86
147. 都市公園	87
148. 土地区画整理事業	87

★上水道

149. 水道普及状況	88
150. 水道給水状況	88

★下水道

151. 下水道計画概要	89
152. 下水道整備普及状況	89
153. 浄化センター施設の概要	90

★労働

154. 一般職業紹介状況	91
155. 雇用保険給付状況	91
156. シルバー人材センター事業状況	91

★運輸・通信

157. 自動車保有台数	92
158. 郵便局及びその他の施設	92
159. 年賀郵便物取扱状況	92

160. 郵便物取扱状況	93
--------------	----

★特産物

161. 勝山市の主な特産物	93
----------------	----

★観光

162. 私鉄主要駅乗降客状況（定期）	94
---------------------	----

163. 私鉄主要駅乗降客状況（定期以外）	94
-----------------------	----

164. 観光地月別入込状況調査	96
------------------	----

165. 観光地入込観光客調査	96
-----------------	----

166. 観光客入込と消費額状況	98
------------------	----

167. 雁が原青少年旅行村利用状況	98
--------------------	----

168. 東山いこいの森利用状況	99
------------------	----

169. 海洋センター利用状況	100
-----------------	-----

170. 林業者トレーニングセンター利用状況	100
------------------------	-----

171. 勤労青少年体育センター利用状況	100
----------------------	-----

172. 市営体育館利用状況	100
----------------	-----

173. 勤労婦人センター利用状況	101
-------------------	-----

174. 温泉センター水芭蕉利用状況	101
--------------------	-----

175. 市内観光案内図	102
--------------	-----

★その他

市内の主な官公庁・施設等	104
--------------	-----

勝山市行政機構図	107
----------	-----

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和 29 年 9 月 1 日

大野郡北部に位置する勝山町並びに平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村及び遅羽村の 1 町 8 箇村が合併して勝山市が誕生した。

市章の説明



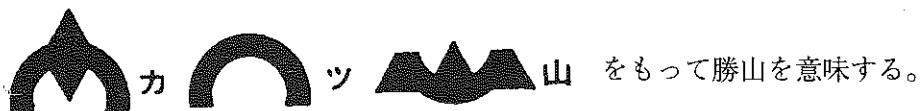
さらに福井市、大野市、金沢市の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、丸と三角とを組み合わせることで将来の発展を意味する。

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和 29 年 9 月 1 日

大野郡北部に位置する勝山町並びに平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村及び遅羽村の 1 町 8 箇村が合併して勝山市が誕生した。

市章の説明



さらに福井市、大野市、金沢市の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、丸と三角とを組み合わせる将来の発展を意味する。



2. 地 勢

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約 28km の地点にあり、東南は大野市に、西南、南は吉田、坂井、足羽の三郡に、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は 1,000 m 級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

市街地は九頭竜川の流れに沿って形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。

3. 位 置

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	最 低		東 西	南 北
136° 23' 34"	36° 0' 13"	1,671 ^m	75 ^m	253.68 ^{km²}	23.3 ^{km}	17.0 ^{km}
136° 39' 44"	36° 9' 17"					

4. 土 地 (地目別面積)

各年 1 月 1 日現在 (単位: Km²)

区 分	合 計	田	畑	宅 地	山 林	原 野	牧場その他
平成 8 年	115.87	19.90	1.59	5.44	83.79	3.21	1.94
9 年	115.72	19.76	1.54	5.41	83.82	3.19	2.00
10 年	115.15	19.63	1.53	5.43	83.41	3.14	2.01
11 年	114.53	19.51	1.50	5.44	82.92	3.13	2.03
12 年	114.38	19.42	1.50	5.47	82.86	3.12	2.01

資料: 税務課 (課税分のみ)

5. 沿 革

本市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に人が暮らしていたことが、点在する縄文遺跡によって知られている。

奈良時代に越の大徳と呼ばれた泰澄大師により開かれたと伝えられる白山中宮平泉寺は、白山信仰の一大拠点として最盛時には48社36堂6千坊を誇り、越前文化の中心的存在として商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり栄えたが、一向宗徒の焼き討ちにより一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田勝安が一揆を鎮め、袋田村に勝山（袋田）城を築きこれを統治した。勝山の地名は一揆勢が立てこもった御立山（通称村岡山）を“勝ち山”と呼んだことから起こったといわれる。以後領主は交代するが、除々に勝山三町（袋田町、後町、郡町）が形成されていった。

元禄4年、小笠原氏が入封、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後機業がぼつ興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られている。

行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9箇村が誕生、その後猪野瀬村が、勝山町に編入合併され、昭和29年9月1日町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村及び遅羽村の1町8箇村が合併し市制を施行、人口39,043人の勝山市が発足した。

以後、市民の努力によって順調に市勢が発展してきているものの、高度経済成長による大都市集中化により人口は次第に減少し、平成7年の国勢調査人口は29,162人となっている。

一方、本市を訪れる観光客は着実に増えてきている。国史跡の白山平泉寺や雁が原スキー場、左義長まつりに年の市といった従来からの観光資源に加え、昭和62年に越前大仏が落慶、平成4年には越前勝山城博物館が開館、平成5年には法恩寺山リゾート開発計画の中核であるスキー場・スキージャム勝山がオープンし、市全体の平成9年の観光入込客は150万人を超えるに至っている。

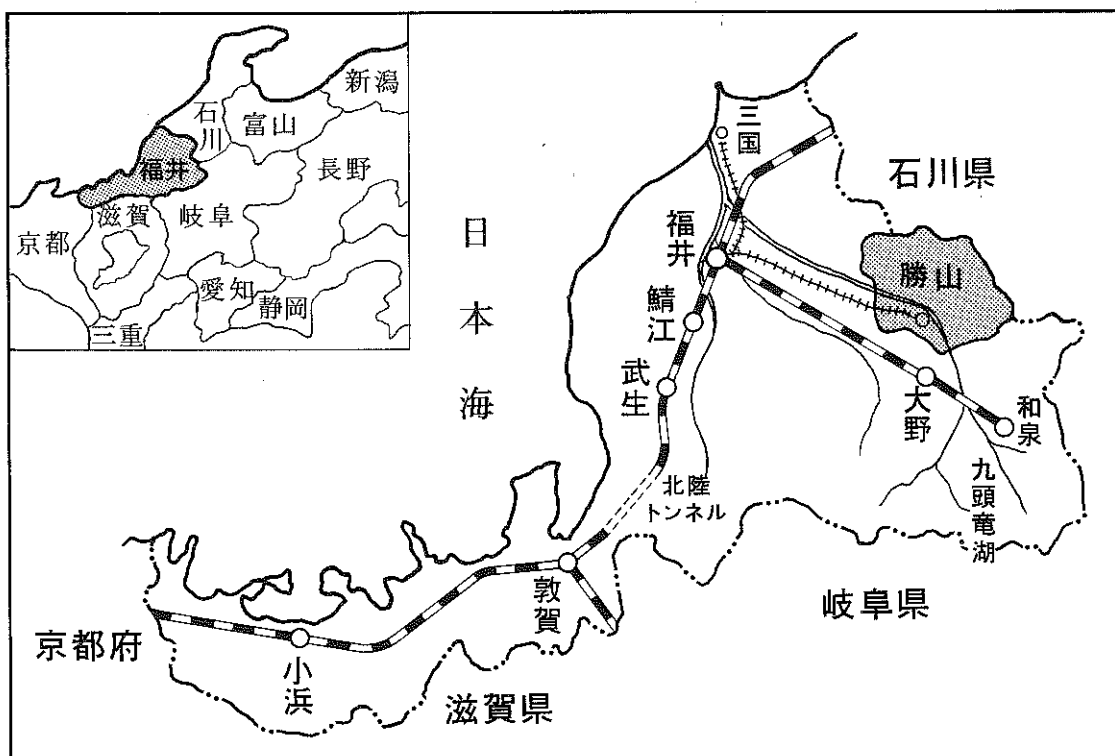
市制40周年を迎えた平成6年にはリゾート先進地である米国コロラド州アスペン市との間に友好都市提携を結び、市民レベルの相互交流を進め、友好都市の契機ともなったアスペン音楽祭は、民間組織によって毎年運営されている。

平成9年には白山平泉寺の国史跡指定区域が200haに拡大され、中世宗教都市の発掘整備に期待がかかるとともに、法恩寺山リゾート開発計画の進展、さらには平成12年の県立恐竜博物館の開館などにより、今後は観光客の大幅な増加が見込まれる。

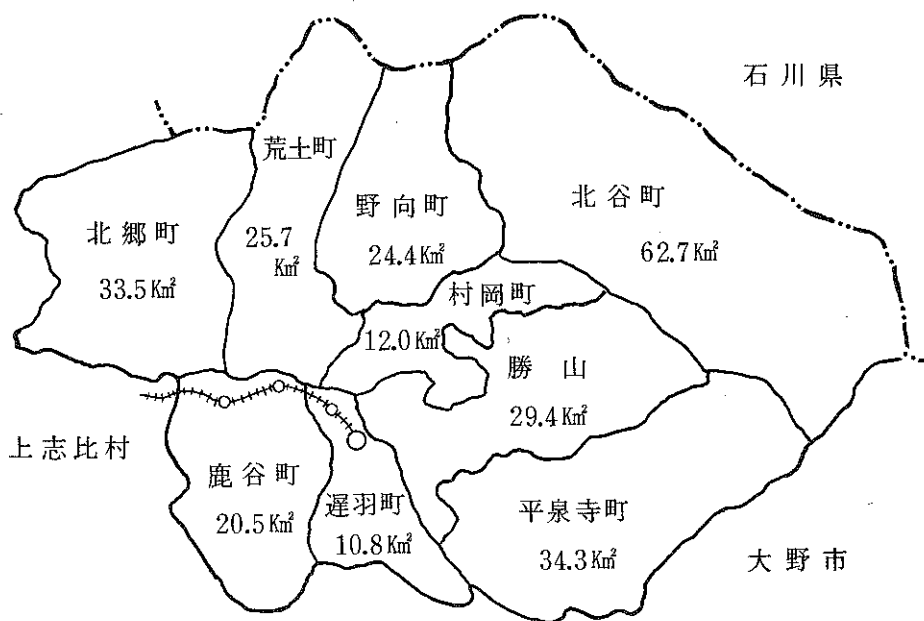
観光需要に対応した農林産物や繊維製品の特産品・新商品の開発、加えて中部縦貫自動車道など交通インフラの整備促進に期待が寄せられている。

このように地域特性を広くアピールし、幅広い交流と人づくりを進めるなかで「21世紀へ躍進、自然と歴史、ふれあいの里・勝山」をめざし活気に満ちた勝山市の実現のため着実な進展が図られてきている。

位置図



6. 面積 (253.68k m²)



※ 勝山市の面積については、市制施行以来 253.32 k m²としてきたが、昭和 62 年に国土地理院が全国の 25000 分の 1 の地図を作成した際、精査したところ 253.68 k m²と判明し、以後はこれをもって面積としている。ただし、旧町村ごとの面積については発表されなかったため、上記の地区ごとの面積の合計は従前のとおり 253.32 k m²となっている。

歴史

7. 勝山市の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
紀元前 1 万年頃	旧石器～	平泉寺町赤尾の池から動物を捕獲するため槍の先に付けられた槍先形尖頭石器発見（勝山市内最古の加工品）
紀元前 5000 年頃	縄文時代草創期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・嶗崎地区三室・暮見地区古宮などで集落が形成
紀元前 2500 年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前 1500 年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前 500 年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前 100 年頃	弥生時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成
300～500 年頃	古墳時代	荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳が形成
717	養老元年	泰澄大師が平泉寺を開山
930 年頃	承平年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が散見
1084	応徳元年	平泉寺が比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大
1341	興国 2 年	新田義貞の武将、畑時能が伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死
1524	大永 4 年	平泉寺祭礼に際し流鏝馬の神事を実施
1539	天文 8 年	平泉寺賢聖院、約 500 石の領地を朝倉氏より認知
1574	天正 2 年	平泉寺、一向一揆により全山焼失
1575	3 年	柴田義宣が七山家の一揆平定に着手
1577	5 年	柴田義宣は討死、養子勝安が一揆平定
1580	8 年	柴田勝安は村岡山から袋田村に移り、現在の市民会館の地に勝山城築城
1583	11 年	柴田勝安は賤ヶ岳で討死、その後丹波長秀の重臣成田重正が勝山城に入封 太閤検地開始
1601	慶長 6 年	福井藩領となり、家臣林長門が勝山城代
1615	元和元年	勝山城は一国一城令により、取りこわし
1524	寛永元年	松平秀康の 5 男松平直基が勝山藩（3 万石）を統治
1536	12 年	松平秀康の 6 男松平直良が勝山藩（3 万 5 千石）を統治
1644	正保元年	福井藩預かり地となり、瓦門番が交代で統治
1686	貞享 3 年	福井藩減封により、幕府直轄領となり勝山陣屋が置かれ、三人の代官を配置
1691	元禄 4 年	勝山藩主（2 万 2,777 石）として小笠原貞信、美濃高須より移封

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1702	元禄 15 年	九頭流川が氾濫し堤防決壊、田畑家屋流出（長渕は一面川原）
1706	宝永 3 年	九頭流川堤防復旧工事完成
1708	5 年	二代信辰、勝山城主
1709	6 年	幕府より築城の奉書が出され、築城に取り掛かるが本丸のみ完成（再建）
1715	正徳 5 年	後町より出火、寺院 3・町屋 120 軒焼失
1721	享保 6 年	再び九頭竜川氾濫
1726	11 年	女神川氾濫、猪野口村全滅（58 軒中の 48 軒流出、死者 75 人）
1746	延享 3 年	城下に大火発生、郡町（現本町 4 丁目付近）から出火、袋田町・後町・武家屋敷に延焼、全町 630 軒のうち 458 軒焼失
1771	明和 8 年	五代信房築城を再開、二ノ丸土居と堀を築き、ここに居館を移動 財政建て直しのため税制の改正をはじめたので、領内に百姓一揆が 起こり、これを中止
1781	安永 10 年	城下に大火発生、民家 582 軒、武家屋敷 89 軒余焼失
1782	天明 2 年	町火消しを組織（袋田町・後町・郡町火消組 3 組）
1783	3 年	当時戸数 2,868 軒、人口 11,561 人
1793	寛政 5 年	六代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築造
1799	11 年	城下に大火発生、郡町 128 軒、後町 155 軒、尊光寺など 11 箇寺焼失
1822	文政 5 年	勝山城御殿より出火、門・土蔵・高塀を残して全焼
1823	6 年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿が完成
1826	9 年	七代長貴築城再開、北側の堀を掘り、東の土居、櫓台を築き二ノ丸 完成
1831	天保 2 年	大凶作
1833	4 年	再び大凶作
1836	7 年	大飢饉 2 年続き、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出
1841	12 年	泰魯斎の進言と家老林毛川の努力により、読書堂（翌々年成器堂と 改称）を建設
1842	13 年	長渕大火、長渕 81 軒・後町 7 軒焼失、滝波村 85 軒類焼
1848	嘉永元年	長山鉄砲場に講武台を建設開始（7 年後の安政 2 年に完成）
1850	3 年	勝山藩、はじめて大砲を鋳造
1853	6 年	勝山藩「煙草改会所」を設置
1857	安政 4 年	勝山藩「煙草改会所」を「産物改会所」と改称
1869	明治 2 年	小笠原長守 勝山藩知事に任命 7 月に廃藩置県により勝山県へ （他に現市域内に鯖江県、郡上県、本保県の一部あり）
1871	4 年	勝山県等を廃し福井県へ 福井県を廃し足羽県へ
1872	5 年	勝山郵便取扱所創立

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1872	明治5年	学制発布により成器小学校を設置（順次各地区に設置され、明治15年には28の小学校が創立） 区制改正により全町村17大区に変更
1873	6年	足羽県を廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県
1876	9年	敦賀県を廃止し、現市域は石川県26大区に所属 勝山製糸会社（三の丸製糸）創立
1878	11年	大小区を廃止し、郡に郡長、町村に戸長を設置
1881	14年	石川、滋賀の2県より若越11郡を分離して福井県を設置（現在の県域がほぼ確定） 大野警察署勝山分署設置
1888	21年	製糸業大いに興り、製品を海外に輸出
1889	22年	町村制実施され勝山町、猪野瀬村、平泉寺村、村岡村、野向村、北谷村、遅羽村、荒土村、北郷村、鹿谷村（1町9箇村）
1896	29年	勝山大火、立石より出火、町屋1,200余軒・寺18箇寺焼失（勝山町全戸数の80%）
1897	30年	勝山葉タバコ専売所開設
1904	37年	勝山～福井間に乗合馬車開通
1911	44年	勝山町電話開通
1912	大正元年	下荒井に簡単な鉄線懸木造つり橋が架橋
1914	3年	福井～勝山～大野間電車開通（越前電気鉄道創設）
1915	4年	勝山橋架橋
1920	9年	第1回国勢調査
1921	10年	小船渡に船橋に代わって小船渡橋が架橋
1931	昭和6年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932	7年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円
1933	8年	成器女子校・町役場焼失、翌日尊光寺も焼失
1937	12年	勝山橋の木橋の一部が流失、鉄筋コンクリート橋に改修
1942	17年	私立勝山精華女学校開校
1946	21年	勝山病院開設
1948	23年	勝山高等学校開校 谷トンネル開通
1949	24年	勝山商工会創立
1950	25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954	29年	1町8箇村合併し市制施行（初代市長 山内継喜）
1957	32年	雁が原スキー場オープン 財政再建団体の指定 勝山北部中学校開校
1958	33年	新市庁舎落成

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1959	昭和 34 年	伊勢湾台風猛威 (被害 5 億円)
1961	36 年	市消防本部、市消防署設置 第 2 室戸台風 (被害 2 億円)
1962	37 年	白山国定公園が国立公園に昇格 市有林 100 万本植樹完了 電話自動化
1963	38 年	38(サンパチ)豪雪(被害 10 億円) 勝山橋架け替え工事完成 勝山総合病院完成 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び低開発地域工業開発地区の指定 市議会議員の選挙を大選挙区制に変更を決議
1964	39 年	勝山新大用水完成 市制 10 周年記念行事実施 勝山都市計画正式決定
1965	40 年	市農協誕生及び市農業センター完成 緊急道路整備 3 箇年計画に着手 40.9 三大風水害(被害総額 18 億円)
1966	41 年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施 市営火葬場落成
1967	42 年	勝山中部中学校校舎完成 市民会館落成
1968	43 年	第 23 回国民体育大会(勝山市において 4 種目開催) 財政再建団体の指定
1969	44 年	下荒井隧道・市荒川大橋完成
1970	45 年	下荒井橋完成
1971	46 年	雇用促進住宅「下毛屋宿舎」、勤労者体育センター、老人センター「平泉寺荘」完成 大野・勝山地区広域市町村計画策定
1972	47 年	国道 157 号新谷トンネル開通
1973	48 年	勝山市総合振興計画決定
1974	49 年	勝山南部中学校開校(中学校統合計画完了) 京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線 市制 20 周年記念行事実施
1975	50 年	成器西小学校が旧勝山中学校跡へ移転

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1975	昭和 50 年	財政再建計画 5 年短縮して完了 勝山市名誉市民条例制定
1976	51 年	教育福祉会館落成 名誉市民第 1 号多田清氏 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977	52 年	農村整備事業着手 市農協カントリーエレベーター完成(伊波)
1978	53 年	市営庭球場及び市営弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979	54 年	長山公園グラウンド夜間照明施設完成 北児童センター完成 一般国道 157 号開通(谷峠付近)
1980	55 年	東山いこいの森完成 市農協カントリーエレベーター完成(岡横江)
1981	56 年	56 豪雪 勝山市新総合振興計画基本構想の策定 消防本部、消防署発足 20 周年記念行事実施 商工会議所創立 30 周年記念行事実施 南児童センター完成
1982	57 年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 遅羽農村環境改善センター落成 西児童センター完成 勤労婦人センター完成
1983	58 年	B&G 財団勝山海洋センター完成 林業者健康トレーニングセンター完成
1984	59 年	市営住宅本町団地完成 南保育園完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁が原青少年旅行村開設 越前大仏大門・中門・回廊起工式 市制30周年記念行事実施 市の木「スギ」、市の花「サツキ」を制定 国道416号・バイパス伊波～滝波間開通
1985	60 年	克雪センター完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1985	昭和 60 年	浄化センター通水式 荒土小学校校舎完成 奥越地域地場産業振興センター竣工式 グリーンセンター火入れ式 奥越花卉集出荷場竣工式
1986	61 年	温泉ボーリング調査起工式(村岡町浄土寺地係) 全市ごみ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生 北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道 100 選に「中宮平泉寺参道」 林道河合線完成
1987	62 年	特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼・落慶法要 勝山市日中友好協会設立 村岡小学校第2体育館落成
1988	63 年	勝山北部中学校体育館落成 さくら荘デイサービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 市農協開館落成 北谷町杉山で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成
1989	平成元年	勝山南高等学校開校(旧勝山精華高等学校) (社)シルバー人材センター発足 一般廃棄物(不燃物)最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990	2 年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局 温泉センター「水芭蕉」落成 アイドルキャラクター「チャマゴン」誕生(10/10)
1991	3 年	消防庁舎落成 市立図書館落成 野向小学校屋内運動場改築 アスペン音楽祭開催(第1回)
1992	4 年	温泉センター「ふれあい会館」落成 白山国立公園昇格 30 周年記念事業実施

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1992	平成 4 年	ふるさと森林館落成 法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工 蓬生坂トンネル開通 越前勝山城博物館落成 法恩寺有料道路開通
1993	5 年	デイサービスセンター「九頭竜」落成 平泉寺保育園新築 勝山南大橋開通 老人保健施設「鷺巣苑」落成 スキージャム勝山オープン
1994	6 年	市制 40 周年記念事業実施 福祉バス運行開始 米国アスペン市と友好都市提携調印 恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集 暴力追放市民総決起大会 「ゆとり創造宣言都市」の指定 勝山市老人保健福祉計画策定
1995	7 年	市営南大橋住宅が完成 まちづくり景観条例を制定 阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送 印鑑登録オンライン化
1996	8 年	「京福電車存続対策勝山市民会議」を結成、存続運動が活発化 老人保健施設「シルバーケア九頭竜」落成 勝山橋本橋工事開始 小松市、白峰村と災害相互応援協定締結 白山禅定道に「歴史の道百選」 子育て支援センター開設 県が県立恐竜博物館(仮称)を長尾山に建設決定 県立クレール射撃場オープン 「恐竜文化賞」の絵本などを発刊
1997	9 年	国史跡「白山平泉寺旧境内」拡大指定 あさひ公園完成 洛陽市交流 10 周年、越前大仏落慶 10 周年記念合同事業実施 北谷小学校廃校 長尾山総合公園事業着工 「桜づつみ」に建設省「手作り郷土賞」 雇用促進住宅「サン・コーポラス鹿谷」完成 都市計画道路「元禄線」完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1997	平成 9 年	勝山市緑の基本計画策定
1998	10 年	県立恐竜博物館着工 中部縦貫自動車道勝山地係で着工 ふくい県民長寿祭勝山で開催
1999	11 年	「恐竜エキスポふくい 2000」勝山市実行委員会発足 チャマゴンにガールフレンド「チャマリン」誕生(7/27) 京福電車と地球を愛する会発足 かつやま子どもの村小学校開校(旧北谷小学校跡地) ふれあい交流館「勝山ニューホテル」オープン ロードパーキング「恐竜街道」オープン ねんりんピック'99 福井(ウォークラリー会場) 中部縦貫自動車道油坂峠道路開通 福井社会保険病院移転開業(旧勝山病院) 勝山北部デイサービスセンター落成 老人保健施設「サンビューかつやま」落成 第2回恐竜文化賞作品を募集
2000	12 年	勝山橋完成 「いきいきかつやま健康づくりプラン」第3次保健計画策定 勝山市老人保健福祉計画・勝山市介護保険事業計画策定 市街地循環福祉バス「きらめき号」運行開始 県立恐竜博物館オープン 恐竜エキスポふくい 2000 開催(7/20～9/17)

市民生活

出生



月 17.7 人

死亡



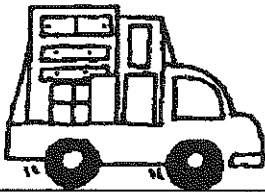
月 22.3 人

転入



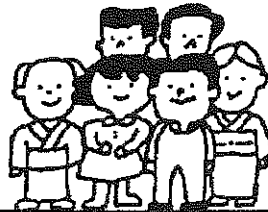
月 40.3 人

転出



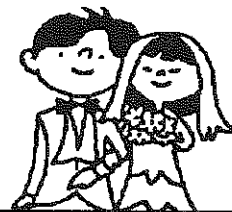
月 57.4 人

人口密度



1 k² 当たり 111.8 人

結婚



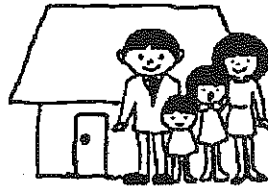
月 10.8 組

離婚



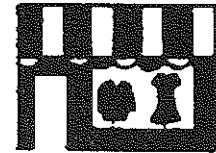
月 2.3 組

家族



1 世帯に 3.6 人

商店



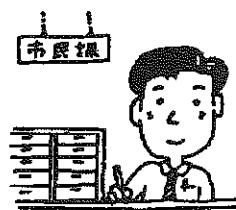
17.8 世帯に 1 店

教員



小学生 14.6 人に 1 人
中学生 15.7 人に 1 人

市職員



市民 87.6 人に 1 人

消防職員



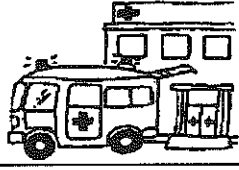
市民 766.7 人に 1 人

医 師




市民616.8人に1人

救急車出動



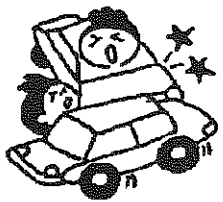
月 47.9 人

自家用自動車




1世帯に2.4台

交通事故




月 10.2 件

火 災



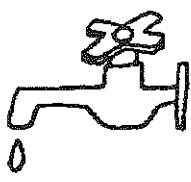
121.7日に1件

ゴミの収集量




1世帯1日当たり2.0 kg

上水道



1人1日当たりの使用量 0.28m³

下水道



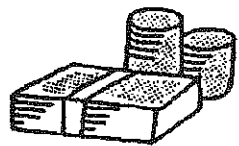
普及率 67.1%

市 税



市民1人当たり 124,213 円

市の予算



市民1人当たり 840,080 円



※算出にあたっては、世帯数及び人口については平成12年7月1日現在の推計世帯数及び人口を、その他のデータについては最新の数字を基礎にした。

気象

8. 気象の概況

平成 11 年

観測地点：勝山地域気象観測所（4 要素：勝山市平泉寺町平泉寺 86 字岡道北 9-1）

（降雪・積雪：勝山市立川町 2-2）

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
気 均	日平均気温 ℃	1.2	0.5	6.9	11.5	16.7	20.7	24.0	26.1	23.8	15.9	9.7	3.0	13.3
	同上準平年値 ℃	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0
	日最高気温 ℃	4.1	4.2	11.6	15.9	22.3	24.4	27.4	29.9	27.9	20.8	14.3	6.2	17.4
	同上準平年値 ℃	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9
	日最低気温 ℃	-1.0	-2.9	2.4	7.0	11.3	17.0	21.2	22.8	20.3	11.6	5.9	0.4	9.7
	同上準平年値 ℃	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8
温 極	最高気温 ℃	11.0	11.7	20.0	22.9	27.5	28.5	33.1	33.3	31.1	29.4	19.5	13.4	33.3
	同上起日	6	17	25	22	22	6	25	8	19	2	7*	10	8/8
	最低気温 ℃	-4.0	-6.9	-3.3	-1.3	6.7	10.1	16.3	17.6	14.2	3.4	0.2	-3.7	-6.9
	同上起日	18	5	23	9	1	10	2	25	27	24	28	22	2/5
日 数	最高気温 ≥ 25℃	-	-	-	-	7	15	22	31	27	6	-	-	108
	最低気温 < 0℃	25	27	10	1	-	-	-	-	-	-	-	14	77
降 水 量	降水量合計 mm	216	135	80	118	131	236	99	177	266	86	167	254	1,965
	同上準平年値 mm	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2,555.6
	最大 日降水量 mm	35	19	16	24	44	48	26	58	67	25	24	38	67
	起日	2	11	19	6	24	30	3	15	21	27	28*	20	9/21
	日 数	≥ 1 mm	20	20	11	12	9	16	10	9	13	9	19	19
	≥ 10 mm	11	5	5	5	3	7	3	6	5	3	6	8	67
	≥ 30 mm	1	-	-	-	3	2	-	2	4	-	-	3	15
風 向 ・ 風 速	最大 風速 m/s	10	14	10	10	13	8	10	9	11	8	8	8	14
	同上風向(16方位)	NNW	SE	NW	WNW	SE	SSE	SE	SE	SE	NW	SE	NW	SE
	同上起日	17*	24	16*	13*	19	22*	27	3*	24	28*	12*	7	2/24
	最多風向(16方位)	E	E	NW	NNW	E	E	SE	SE	E	E	E	E	
	≥ 10m/s の日数	3	2	2	2	2	-	1	-	1	-	-	-	13
日 照	日照時間 h	65.5	91.0	124.5	127.7	185.4	97.8	58.6	140.2	106.5	155.5	110.3	67.4	1,330.4
	不照日数	6	3	7	10	7	11	11	6	6	4	4	9	84
雪	最深積雪 cm	61	68	4	-	-	-	-	-	-	-	-	91	91
	同上起日	10	6*	1	-	-	-	-	-	-	-	-	21	12/31
	積雪日数(≥ 0)	30	28	3	-	-	-	-	-	-	-	-	15	76
	降雪の深さの合計 cm	145	138	2	-	-	-	-	-	-	-	-	129	145
	降雪の深さの最大値 cm	35	33	2	-	-	-	-	-	-	-	-	60	60

資料：福井地方気象台

※平均気温…日平均気温（毎正時 24 回の平均）の月・年の平均値
 最高（低）気温…日最高（低）気温（毎正時 24 回の最高（低）値）の月・年の最高（低）値
 最大風速…日最大風速（毎正時 24 回の最大）の月・年の最大値
 降水量…日降水量（毎正時 24 回の合計）の月・年合計値
 日照時間は太陽電池式日照計による。降雪…当日 9 時～翌日 9 時観測
 最深積雪…毎日 9 時観測で積雪の深さの月又は年最大値
 *は同一の極値が 2 個以上。日付は新しいものを採用
 準平年値は移設により統計断のため旧観測所（勝山市立川町 2-2）の資料です。

<解説>

冬（前年 12 月～2 月）は 1 月上旬に寒気が南下してまとまった降雪があったが、冬型の気圧配置は長続きせず、3 年連続の暖冬となった。春も 3 月が記録的な高温となった。梅雨入りは平年並みであったが、梅雨明け以降 8 月上旬にかけて厳しい暑さが続いた。8 月中旬は南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり各地で局地的な雨が降った。台風発生は 22 個で 9 月に 2 個上陸し、いずれも県内で被害が出た。秋も 9 月を中心に記録的な高温となった。12 月中旬の末から下旬の始めにかけてまとまった降雪があった。年を通して高温が目立った。

9. 過去の気象最高（低）記録

区 分	記 録	記 録 年 月 日	備 考
最高気温（極）	37.8℃	昭和35年 8月 2日	大正元年～平成11年
最低気温（極）	-14.7℃	大正 2年 2月12日	大正元年～平成11年
日最大降水量	232mm	昭和40年 9月14日	明治32年～平成11年
最深積雪	325cm	◆昭和38年 1月31日	大正 2年～平成11年
日最大降雪量	100cm	昭和55年 12月28日	大正 2年～平成11年
日最大風速	16m/s南南東	平成 3年 9月27日	昭和53年～平成11年

資料：福井地方気象台

※◆は同一の極値が2個以上。日付は新しいものを採用

昭和50年7月～昭和51年12月までの観測休止期間を除く

10. 寒候期年別最深積雪

(単位：cm)

区 分	積 雪	起 日	区 分	積 雪	起 日
昭和54年	55	1月16日	平成 元年	57	12月17日
55年	165	◆2月17日	2 年	80	1月26日
56年	270	1月15日	3 年	128	2月24日
57年	51	◆2月10日	4 年	45	1月24日
58年	140	2月21日	5 年	54	2月 2日
59年	165	◆2月10日	6 年	69	1月24日
60年	142	12月31日	7 年	88	2月 7日
61年	158	1月12日	8 年	115	2月 4日
62年	97	3月 1日	9 年	43	1月30日
63年	76	2月10日	10年	57	1月27日
			11年	68	◆2月 6日

資料：福井地方気象台

※寒候期とは前年11月から当年4月まで

◆は同一の極値が2個以上。日付は新しいものを採用

午前9時の観測の値での寒候期最大値

11. 月別平均気温・降水量の準平年値

(単位：℃・mm)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均気温	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0
最高気温平均	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9
最低気温平均	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8
降 水 量	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2,555.6

資料：福井地方気象台

※平均気温は毎正時の24回観測の平均値

最高（低）気温は毎正時24回観測の最高（低）値の平均値

統計期間は昭和54年から平成2年

世帯と人口

12. 世帯数と人口

各年10月1日現在 (単位：人・戸・%)

区 分	世 帯 数	人 口				1 世 帯 人 当 たり 人 口	人口密度 (1km ² あたり)
		総数	男	女	女百人に 対する男		
大 正 9 年 〔第1回国勢調査〕	5,862	28,852	13,923	14,929	93.3	4.9	113.7
14 年 〔第2回国勢調査〕	5,777	28,381	13,909	14,472	96.1	4.9	111.9
昭 和 5 年 〔第3回国勢調査〕	...	29,092	14,284	14,808	96.5	...	114.7
10 年 〔第4回国勢調査〕	...	31,945	15,658	16,287	96.1	...	125.9
15 年 〔第5回国勢調査〕	6,333	31,404	15,341	16,063	95.5	5.0	123.8
22 年 〔第6回国勢調査〕	...	37,485	17,622	19,863	88.7	...	147.8
25 年 〔第7回国勢調査〕	7,598	38,962	18,502	20,460	90.4	5.1	153.6
30 年 〔第8回国勢調査〕	7,452	37,556	17,727	19,829	89.4	5.0	148.0
35 年 〔第9回国勢調査〕	7,584	36,531	16,989	19,542	86.9	4.8	144.0
40 年 〔第10回国勢調査〕	7,473	34,828	16,248	18,580	87.4	4.7	137.3
45 年 〔第11回国勢調査〕	7,532	32,691	15,417	17,274	89.2	4.3	128.9
50 年 〔第12回国勢調査〕	7,652	31,025	14,929	16,096	92.7	4.1	122.3
55 年 〔第13回国勢調査〕	7,731	30,852	14,962	15,890	94.2	4.0	121.6
60 年 〔第14回国勢調査〕	7,718	30,416	14,715	15,701	93.7	3.9	119.9
平 成 2 年 〔第15回国勢調査〕	7,701	29,805	14,400	15,405	93.5	3.9	117.5
7 年 〔第16回国勢調査〕	7,733	29,162	14,033	15,129	92.8	3.8	115.0

資料：国勢調査

参考

平成12年7月1日現在 (単位：人・戸・%)

平成12年7月1日 現 在 推 計	7,965	28,369	13,554	14,815	91.5	3.6	111.8
----------------------	-------	--------	--------	--------	------	-----	-------

資料：企画課

※算出方法：平成7年国勢調査の結果を基礎とし、これに毎月の出生・死亡及び転入・転出の増減数を調整した。なお、本表は、平成12年版から参考資料として追加した。

また、住民基本台帳等と国勢調査では人口等のとらえ方が違うため、広報紙でお知らせしている数字とは若干違いがある。

13. 地区別世帯数及び人口

平成7年10月1日現在 (単位:人・戸)

区 分	世 帯 数	人 口			1世帯当たり 人 口
		総 数	男	女	
総 数	7,733	29,162	14,033	15,129	3.8
勝 山	3,556	12,069	5,777	6,292	3.4
猪 野 瀬	380	1,504	717	787	4.0
平 泉 寺	320	1,546	771	775	4.8
村 岡	1,267	4,773	2,312	2,461	3.8
北 谷	96	312	133	179	3.3
野 向	242	1,104	519	585	4.6
荒 土	522	2,325	1,112	1,213	4.5
北 郷	525	2,253	1,078	1,175	4.3
鹿 谷	586	2,286	1,129	1,157	3.9
遅 羽	239	990	485	505	4.1

資料：国勢調査

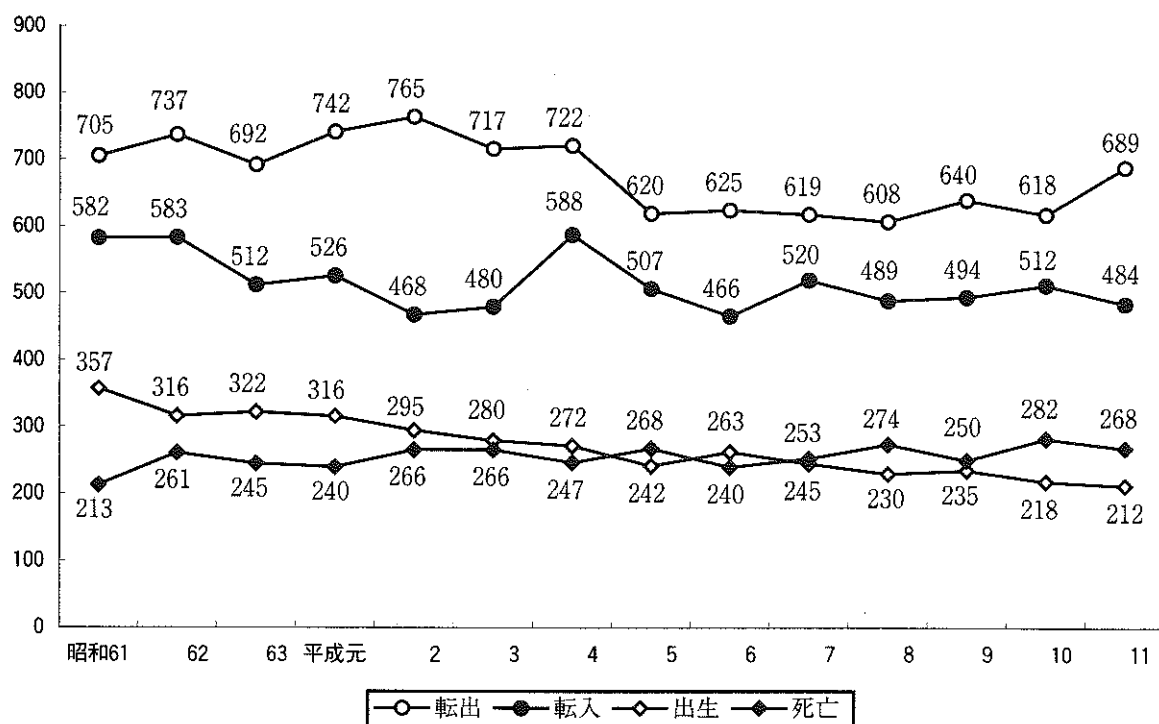
14. 人口動態

(単位:人・組)

区 分	自 然 動 態			社 会 動 態			自然動態 と社会動 態の合計	婚 姻	離 婚
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減			
昭和63年度	322	245	77	512	692	△180	△ 103	139	11
平成元年度	316	240	76	526	742	△216	△ 140	153	22
2年度	295	266	29	468	765	△297	△ 268	126	16
3年度	280	266	14	480	717	△237	△ 223	128	23
4年度	272	247	25	588	722	△134	△ 109	122	29
5年度	242	268	△26	507	620	△113	△ 139	139	20
6年度	263	240	23	466	625	△159	△ 136	125	18
7年度	245	253	△ 8	520	619	△ 99	△ 107	120	30
8年度	230	274	△44	489	608	△119	△ 163	121	35
9年度	235	250	△15	494	640	△146	△ 161	120	31
10年度	218	282	△64	512	618	△106	△ 170	125	41
11年度	212	268	△56	484	689	△205	△ 261	130	27

資料：市民課

15. 人口動態の推移



ミニコラム「国勢調査をごぞんじですか？」

国勢調査は、我が国の最も基本的な統計調査で、人口・世帯数を始め、男女・年齢別、産業別などの人口の構成や世帯の構成・居住状況を明らかにするためにを行っています。

また、「統計法」に基づく指定統計第1号として「人口に関する全数調査」として位置付けられています。大正9年に第1回の国勢調査が行われて以来、平成12年国勢調査で第17回目になります。

調査結果は衆議院の小選挙区の確定や県議会、市議会の定数の決定などの法定人口として利用されるほか、国や県、勝山市の行政施策、学術研究、企業活動の基礎資料などにも幅広く活用されています。

16. 年齢別（5歳階級）人口

各年10月1日現在（単位：人・％）

区 分	昭 和 60 年			平 成 2 年			平 成 7 年			
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	
総 数	30,416	14,715	15,701	29,805	14,400	15,405	29,162	14,033	15,129	
0～4歳	1,851	956	895	1,615	832	783	1,316	715	601	
5～9	2,116	1,074	1,042	1,874	969	905	1,673	868	805	
10～14	2,424	1,260	1,164	2,107	1,071	1,036	1,852	968	884	
15～19	1,744	871	873	1,990	1,048	942	1,768	886	882	
20～24	1,447	671	776	1,215	532	683	1,507	741	766	
25～29	1,743	888	855	1,513	740	773	1,350	620	730	
30～34	2,224	1,134	1,090	1,738	862	876	1,486	716	770	
35～39	2,372	1,255	1,117	2,199	1,115	1,084	1,743	853	890	
40～44	1,821	909	912	2,332	1,223	1,109	2,184	1,105	1,079	
45～49	1,898	904	994	1,816	911	905	2,318	1,223	1,095	
50～54	2,235	1,076	1,159	1,860	883	977	1,789	897	892	
55～59	2,380	1,156	1,224	2,168	1,045	1,123	1,803	845	958	
60～64	1,843	774	1,069	2,292	1,092	1,200	2,068	983	1,085	
65～69	1,443	625	818	1,755	734	1,021	2,188	1,027	1,161	
70～74	1,234	508	726	1,291	547	744	1,628	655	973	
75～79	892	384	508	1,041	409	632	1,156	468	688	
80～84	483	182	301	632	259	373	818	286	532	
85～89	203	71	132	258	91	167	378	133	245	
90歳以上	63	17	46	109	37	72	137	44	93	
65歳以上	人 口	4,318	1,787	2,531	5,086	2,077	3,009	6,305	2,613	3,692
	割 合	14.2	12.1	16.1	17.1	14.4	19.5	21.6	18.6	24.4

資料：国勢調査

※平成7.10.1現在県下7市の65歳以上人口の割合、福井市15.8%・敦賀市15.5%・武生市17.3%・小浜市20.7%・大野市20.7%・鯖江市16.2%で、勝山市が21.6%と最も高齢化が進んでいる。

17. 産業分類別・従業上の地位別就業者

各年 10 月 1 日現在(単位：人)

区 分	平成 2 年	平 成 7 年					
		総 数	雇用者	役 員	雇人の ある業種	雇人の ない業主	家 族 従業者
総 数	16,417	16,258	11,395	719	416	2,024	1,704
第 1 次産業	1,849	1,684	52	2	6	888	736
農 業	1,809	1,650	27	-	5	885	733
林 業・狩 猟 業	39	33	24	2	1	3	3
漁 業	1	1	1	-	-	-	-
第 2 次産業	7,596	7,288	5,823	425	193	441	406
鉱 業	21	40	37	3	-	-	-
建 設 業	1,800	1,864	1,334	175	94	168	93
製 造 業	5,775	5,384	4,452	247	99	273	313
第 3 次産業	6,969	7,283	5,517	292	217	695	562
卸 売・小 売 業	2,454	2,537	1,433	167	141	392	404
金 融・保 険 業	319	299	280	9	2	3	5
不 動 産 業	21	31	24	4	-	2	1
運 輸・通 信 業	658	645	593	21	2	25	4
電 気・ガ ス・水 道 業	91	86	86	-	-	-	-
サ ー ビ ス 業	2,992	3,231	2,647	91	72	273	148
公 務	434	454	454	-	-	-	-
分類不能の産業	3	3	3	-	-	-	-

資料：国勢調査

※産業分類別、就業者では第 2 次産業、第 3 次産業がそれぞれ 44.8%を占め、第 1 次産業では 10.4%となっている。

第 1～3 次産業の分類は慣例による分類

18. 人口集中地区 (D I D)

各年 10 月 1 日現在(単位：人・k m²)

区 分	人 口	面 積	人口密度(1km ² 当たり)
昭 和 50 年	13,337	2.5	5,335
55 年	12,820	2.4	5,342
60 年	12,326	2.6	4,741
平 成 2 年	12,793	2.9	4,411
7 年	12,381	2.8	4,360

資料：国勢調査

19. 通勤・通学別流出口（15歳以上）

平成7年10月1日現在(単位：人)

区 分	勝山市から他市町村へ		
	総 数	就 業 者	通 学
県内他市町村への通勤・通学者	3,914	3,503	411
福 井 市	2,177	1,930	247
敦 賀 市	11	11	-
武 生 市	43	25	18
大 野 市	944	845	99
鯖 江 市	46	40	6
美 山 町	11	11	-
松 岡 町	152	119	33
永 平 寺 町	99	99	-
上 志 比 村	113	113	-
その他の市町村へ	318	310	8
県外への通勤・通学者	108	88	20
石 川 県 へ	103	83	20
その他の都道府県へ	5	5	-
合 計	4,022	3,591	431

※勝山市の就業者16,258人(NO.73産業別就業人口)のうち22.1%が他市町村へ就業している。 資料：国勢調査

20. 通勤・通学別流入人口（15歳以上）

平成7年10月1日現在（単位：人）

区 分	他市町村から勝山市へ		
	総 数	就 業 者	通 学
県内他市町村からの通勤・通学者	1,820	1,638	182
福 井 市	238	237	1
武 生 市	12	12	-
大 野 市	1,189	1,067	122
鯖 江 市	12	12	-
美 山 町	17	16	1
松 岡 町	36	35	1
その他の市町村から	316	259	57
県外からの通勤・通学者	36	35	1
合 計	1,856	1,673	183

資料：国勢調査

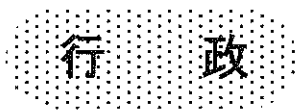
21. 昼間人口

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	常住人口	流入人口			流出人口			昼間人口
		総 数	就 業 者	通 学 者	総 数	就 業 者	通 学 者	
昭和50年	31,025	944	739	205	2,757	2,259	498	29,212
55年	30,852	1,241	975	266	2,971	2,659	312	29,122
60年	30,416	1,429	1,178	251	3,339	3,077	262	28,506
平成2年	29,805	1,671	1,427	244	3,703	3,399	304	27,773
7年	29,162	1,856	1,673	183	4,022	3,591	431	26,996

※流入人口、流出人口とも増加傾向にあるが、昼間人口は減少してきている。

資料：国勢調査



22. 歴代市長

区分	氏名	就任年月日	退任年月日
1	山内 継喜	昭和29. 10. 15	昭和33. 10. 14
2	〃	昭和33. 10. 15	昭和37. 10. 14
3	山内 譲	昭和37. 10. 15	昭和41. 10. 14
4	〃	昭和41. 10. 15	昭和45. 10. 14
5	高野 春三	昭和45. 10. 15	昭和49. 10. 14
6	〃	昭和49. 10. 15	昭和51. 11. 17
7	池田 勤也	昭和51. 12. 26	昭和55. 12. 25
8	〃	昭和55. 12. 26	昭和59. 12. 25
9	〃	昭和59. 12. 26	昭和63. 12. 25
10	今井 三右衛門	昭和63. 12. 26	平成 4. 12. 25
11	〃	平成 4. 12. 26	平成 8. 12. 25
12	〃	平成 8. 12. 26	現在

資料：秘書広報課

23. 歴代助役

区分	氏名	就任年月日	退任年月日
1	光明 正道	昭和30. 11. 8	昭和34. 11. 7
2	〃	昭和34. 11. 8	昭和37. 10. 13
3	皿澤 徳志	昭和39. 3. 28	昭和43. 3. 27
4	〃	昭和43. 3. 28	昭和47. 3. 27
5	池田 勤也	昭和47. 6. 24	昭和51. 6. 23
6	〃	昭和51. 6. 24	昭和51. 12. 16
7	鳥山 忠昌	昭和52. 1. 24	昭和56. 1. 23
8	〃	昭和56. 1. 24	昭和60. 1. 23
9	〃	昭和60. 1. 26	平成元. 1. 25
10	山本 隆治	平成元. 4. 1	平成 5. 3. 31
11	鳥田 英博	平成 6. 4. 1	平成10. 3. 31
12	〃	平成10. 4. 1	現在

資料：秘書広報課

24. 歴代収入役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	豊 島 和 助	昭和30. 1. 1	昭和33. 12. 31
2	〃	昭和34. 1. 1	昭和37. 12. 31
3	梅 田 薫	昭和38. 4. 10	昭和42. 4. 9
4	〃	昭和42. 4. 10	昭和46. 4. 9
5	笠 川 馨	昭和46. 4. 10	昭和50. 4. 9
6	〃	昭和50. 4. 10	昭和54. 4. 9
7	〃	昭和54. 4. 10	昭和58. 4. 9
8	竹 内 仁	昭和58. 10. 1	昭和62. 9. 30
9	〃	昭和62. 10. 1	平成 3. 9. 30
10	諏 訪 芳 郎	平成 3. 10. 1	平成 7. 9. 30
11	松 山 保 雄	平成 7. 10. 1	平成11. 9. 30
12	〃	平成11. 10. 1	現 在

資料：秘書広報課

25. 市職員数

平成12年4月1日現在(単位：人)

区 分	職 員 数			一般行政職員		技能労務職員	
	総 数	男	女	男	女	男	女
総 数	361	209	152	190	114	19	38
市長の事務部局	237	137	100	123	91	14	9
議会の事務部局	4	3	1	3	1	-	-
監査委員の事務部局	2	1	1	1	1	-	-
教育委員会の事務部局	81	31	50	26	21	5	29
消防長の事務部局	37	37	-	37	-	-	-

資料：秘書広報課

ミニコラム「大同団結の1町8箇村」

昭和29年9月1日、大野郡北部の勝山町と周辺の8箇村が合併をし、人口3万8千人(注)の勝山市が誕生した。これは、市の設定基準が3万人から5万人に改正される直前のことであった。合併までには、それぞれの利害や思惑が合って難航したが、大同団結に向けてようやくまとまった。

同日午前6時、5発の祝砲とともに市制施行の記念すべき1日が始まった。全市を挙げて日の丸を掲揚、祝賀の飛行機が式場上空を飛来し、祝意を表すメッセージを市役所広場に投下、喜びを伝える7万枚の5色の宣伝ビラも上空より撒かれた。なお、市制祝賀行事は翌30年4月29日から5月1日の3日間にわたって華々しく繰り広げられた。

注：合併時の人口は正式には39,043人であった。

〈図説 勝山市史から抜粋〉

26. 選挙投票状況

区 分	種 別	当日有権者数		
		総 数	男	女
昭和54. 8. 5	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,447	10,732	11,715
54.10.17	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,546	10,782	11,764
55. 6.22	衆 議 院 議 員 総 選 挙 参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,610	10,825	11,785
55.11.30	勝 山 市 長 選 挙	22,506	10,774	11,732
58. 4.10	福 井 県 知 事 選 挙 福 井 県 議 会 議 員 選 挙	22,561	10,784	11,777
58. 6.26	参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,655	10,821	11,834
58. 8. 7	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,561	10,780	11,781
58.12.18	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,694	10,839	11,855
59.11.25	勝 山 市 長 選 挙	22,581	10,794	11,787
61. 7. 6	衆 議 院 議 員 総 選 挙 参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,696	10,819	11,877
62. 4.12	福 井 県 知 事 選 挙 福 井 県 議 会 議 員 選 挙	22,677	10,786	11,891
62. 8. 2	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,594	10,737	11,857
63.11.27	勝 山 市 長 選 挙 勝 山 市 議 会 議 員 補 欠 選 挙	22,626	10,758	11,868
平成元. 7.23	参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,779	10,826	11,953
2. 2.18	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,707	10,784	11,923
3. 4. 7	福 井 県 知 事 選 挙 福 井 県 議 会 議 員 選 挙	22,599	10,721	11,878
3. 8. 4	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,538	10,693	11,845
4. 7.26	参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,603	10,730	11,873
4.11.29	勝 山 市 長 選 挙	22,553	10,704	11,849
5. 7.18	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,710	10,756	11,954
7. 4. 9	福 井 県 知 事 選 挙 福 井 県 議 会 議 員 選 挙	22,660	10,746	11,914
7. 7.23	参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,852	10,841	12,011
7. 8. 6	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,744	10,797	11,947
8.10.20	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,894	10,856	12,038
8.12. 1	勝 山 市 長 選 挙	無	無	無
10. 7.12	参 議 院 議 員 通 常 選 挙	22,941	10,884	12,057
11. 4.11	福 井 県 知 事 選 挙 福 井 県 議 会 議 員 選 挙	22,705	10,753	11,952
11. 8. 1	勝 山 市 議 会 議 員 選 挙	22,824	10,808	12,016
12. 6.25	衆 議 院 議 員 総 選 挙	22,906	10,858	12,048

※衆議院議員総選挙、参議院議員通常選挙は、小選挙区の投票者数、投票率です。

27. 地区別基本選挙人名簿登録者数

平成12年6月2日現在(単位:人)

区 分	総数	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	北谷	野向	荒土	北郷	鹿谷	遅羽	
登録者数	計	22,936	9,310	1,482	1,114	3,744	250	772	1,794	1,759	1,894	817
	男	10,876	4,392	698	539	1,799	101	364	853	830	911	389
	女	12,060	4,918	784	575	1,945	149	408	941	929	983	428

資料：選挙管理委員会

(単位：人・%)

	投票者数			投票率		
	総数	男	女	合計	男	女
	20,733	9,825	10,908	92.36	91.55	93.11
	18,255	8,705	9,550	80.97	80.74	81.18
衆議院	19,946	9,570	10,376	88.22	88.41	88.04
参議員	19,944	9,569	10,375	88.21	88.40	88.04
	13,208	6,286	6,922	58.69	58.34	59.00
知事	16,433	7,926	8,507	72.84	73.50	72.23
県議	16,433	7,926	8,507	72.84	73.50	72.23
	16,246	7,820	8,426	71.71	72.27	71.20
	20,809	9,865	10,944	92.23	91.51	92.90
	18,604	8,925	9,679	81.98	82.34	81.64
	20,377	9,620	10,757	90.24	89.12	91.26
衆議院	19,258	9,210	10,048	84.85	85.13	84.60
参議員	19,251	9,208	10,043	84.82	85.11	84.56
知事	19,285	9,121	10,164	85.04	84.56	85.48
県議	19,287	9,121	10,166	85.05	84.56	85.49
	20,941	9,862	11,079	92.68	91.85	93.44
市長	16,724	7,916	8,808	73.91	73.58	74.22
市議補	16,715	7,908	8,807	73.88	73.51	74.21
	18,545	8,879	9,666	81.41	82.02	80.87
	19,551	9,224	10,327	86.10	85.53	86.61
知事	9,225	4,374	4,851	40.82	40.80	40.84
	20,707	9,673	11,034	91.88	90.46	93.15
	14,834	7,182	7,652	65.63	66.93	64.45
	15,308	7,172	8,136	67.88	67.00	68.66
	18,090	8,558	9,532	79.66	79.56	79.74
知事	18,475	8,637	9,838	81.53	80.37	82.58
県議	18,475	8,637	9,838	81.53	80.37	82.58
	17,094	8,062	9,032	74.80	74.37	75.20
	20,217	9,469	10,748	88.89	87.70	89.96
	16,523	7,844	8,679	72.17	72.25	72.10
	15,648	7,513	8,135	68.21	69.03	67.47
知事	15,593	7,310	8,283	68.68	67.98	69.30
	19,169	8,882	10,287	83.99	82.18	85.61
	15,831	7,614	8,217	69.11	70.12	68.20

資料：選挙管理委員会

ミニコラム「明治初期の選挙権」

町村の運営は、選挙による町・村会議員によって行われた。選挙権は、帝国臣民として公権を有する男子で、地租を納入する地主など直接国税2円以上の多額納税者に認められた。町・村長は、町・村会議員による投票で選ばれた。

〈図説 勝山市史から抜粋〉

28. 議会活動状況

(1) 本会議の状況

平成11年1月～12月

区 分	回 数	会 期 日 数	本 会 議 日 数
定 例 会	4	61	17
臨 時 会	2	2	2

資料：議会事務局

(2) 委員会等の状況

区 分	常任委員会				特 別 委 員 会								全 員 協 議 会
	総 務 委 員 会	建 設 委 員 会	産 業 委 員 会	議 会 委 員 会	道 対 路 交 通 策	環 境 対 策	京 福 電 鉄	越 前 本 線	存 続 対 策	決 算	全 員 審 査	長 尾 山 開 発	
平成7年	5	8	4	13	4	-	20	13	9	-	4	4	10
8年	5	5	6	9	4	-	20	9	8	-	4	4	12
9年	8	6	5	9	3	1	4	8	10	1	2	2	8
10年	6	8	6	10	4	4	4	8	11	7	-	-	7
11年	5	6	5	8	4	7	3	9	9	2	-	-	13

※下水道特別委員会、地域産業振興対策特別委員会は、平成9年9月で廃止
長尾山開発特別委員会は、平成11年8月で廃止

資料：議会事務局

(3) 付議事件の処理状況

平成11年1月～12月

区 分	件 数	可 決 (同 意)	否 決	修 正 議 決	認 定	承 認	継 続 審 査	審 議 未 了	撤 回
市 長 提 出	条 例 案	14	14	-	-	-	-	-	-
	予 算 案	39	39	-	-	-	-	-	-
	決 算 案	2	-	-	-	2	-	-	-
	契 約	3	3	-	-	-	-	-	-
	同 意 案	7	7	-	-	-	-	-	-
	専 決 承 認 案	11	-	-	-	11	-	-	-
	諮 問	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	18	18	-	-	-	-	-	-	
議 員 提 出	条 例 案	-	-	-	-	-	-	-	-
	会 議 規 則 案	-	-	-	-	-	-	-	-
	意 見 書 案	10	10	-	-	-	-	-	-
	決 議 案	-	-	-	-	-	-	-	-
選 挙 推 薦	6	6	-	-	-	-	-	-	
常 任 委 員 改 選	1	1	-	-	-	-	-	-	
決 定	-	-	-	-	-	-	-	-	

資料：議会事務局

29. 請願陳情処理状況

区 分	審 議			結 果		
	件 数	採 択	不 採 択	審 議 未 了	撤 回	継 続 審 議
平成7年	31	21	1	8	-	1
8年	35	25	3	3	-	4
9年	57	24	4	8	-	21
10年	35	11	3	8	-	13
11年	28	12	1	2	1	12

資料：議会事務局

30. 歴代市議会議長及び副議長

議 長			副 議 長		
順位	氏 名	就任年月日	順位	氏 名	就任年月日
1	山 岸 太之助	昭和29. 9. 13	1	沢田治郎右衛門	昭和29. 9. 13
2	〃	30. 9. 2	2	前 川 俣 吉	30. 9. 2
3	中 村 精	34. 4. 9	3	松 山 吉 一	34. 9. 1
4	〃	34. 9. 1	4	田 中 奥兵衛	35. 9. 6
5	平 井 彦五郎	35. 9. 6	5	小 林 清 栄	38. 9. 2
6	松 井 伝兵衛	38. 9. 2	6	島 田 實	39. 12. 4
7	田 中 奥兵衛	39. 12. 4	7	埴山 長右衛門	41. 1. 19
8	河 合 捨 治	41. 1. 19	8	四 谷 與 一	42. 3. 18
9	松 井 伝兵衛	42. 3. 18	9	島 田 慶 雄	42. 9. 4
10	四 谷 與 一	42. 9. 4	10	小 林 廣	44. 12. 15
11	石 田 巳代治	46. 9. 2	11	石 倉 清 治	46. 9. 2
12	島 田 實 也	50. 9. 4	12	今井 三右衛門	48. 9. 29
13	今井 三右衛門	54. 9. 7	13	西 出 巖	50. 9. 4
14	西 出 巖	58. 9. 5	14	武 内 盛 直	54. 9. 7
15	水 上 晟	60. 9. 20	15	水 上 晟	58. 9. 5
16	西 出 巖	62. 9. 10	16	横 山 定 衛	60. 9. 20
17	武 内 盛 直	平成元. 12. 19	17	畔 川 利 通	61. 12. 22
18	廣田 与三次郎	3. 9. 4	18	川 村 音 一	62. 9. 10
19	乾 吉 一	5. 12. 17	19	辻 一 敏	平成3. 9. 4
20	佐々木 隆 也	7. 1. 17	20	近 藤 栄 治	5. 12. 17
21	辻 一 敏	7. 9. 5	21	北 山 謙 治	7. 9. 5
22	近 藤 栄 治	9. 9. 12	22	藤澤 七郎兵衛	9. 9. 12
23	北 山 謙 治	11. 9. 10	23	松 井 拓 夫	11. 9. 10

資料：議会事務局

31. 市議会議員

平成12年4月1日現在

議席番号	氏 名	所属常任委員会	議席番号	氏 名	所属常任委員会
1	井 上 馨	総務文教	11	藤澤七郎兵衛	建設企業
2	清 水 清 蔵	○産業福祉	12	岩 見 寿 信	総務文教
3	笠松捷多朗	○総務文教	13	北 山 謙 治	総務文教
4	村田与右エ門	○建設企業	14	野尻佐太郎	建設企業
5	山 田 安 信	産業福祉	15	嶋 田 政 憲	建設企業
6	手塚貞臣	◎産業福祉	16	佐々木隆也	産業福祉
7	安居久繁	産業福祉	17	近 藤 栄 治	総務文教
8	小 林 喜 仁	◎総務文教	18	乾 吉 一	建設企業
9	椿 山 弘	◎建設企業	19	廣田与三次郎	産業福祉
10	松 井 拓 夫	産業福祉	20	武 内 盛 直	建設企業

※◎印：委員長 ○印：副委員長

資料：議会事務局

財 政

32. 一般会計予算 (当初)

平成 12 年度 (単位:千円・%)

歳 入				歳 出			
科 目	予 算 額	構 成 比	科 目	予 算 額	構 成 比		
市 税	3,535,482	28.1	議 会 費	174,531	1.4		
地 方 譲 与 税	165,000	1.3	総 務 費	1,596,722	12.7		
利 子 割 交 付 金	114,000	0.9	民 生 費	2,266,002	18.0		
地 方 消 費 税 交 付 金	266,000	2.1	衛 生 費	1,705,692	13.5		
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	685	0.0	労 働 費	240,706	1.9		
自 動 車 取 得 税 交 付 金	118,000	0.9	農 林 水 産 業 費	835,442	6.6		
地 方 特 例 交 付 金	88,000	0.7	商 工 業 費	852,692	6.8		
地 方 交 付 税	4,190,000	33.3	土 木 費	2,388,062	19.0		
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,000	0.1	消 防 費	326,450	2.6		
分 担 金 及 び 負 担 金	281,813	2.2	教 育 費	1,120,560	8.9		
使 用 料 及 び 手 数 料	172,209	1.4	災 害 復 旧 費	11,000	0.1		
国 庫 支 出 金	728,184	5.8	公 債 費	1,023,741	8.1		
県 支 出 金	825,008	6.5	公 諸 支 出 金	50,000	0.4		
財 産 収 入 金	17,145	0.1	予 備 費	5,000	0.0		
繰 入 金	354,814	2.8					
繰 越 金	10,000	0.1					
諸 収 入 金	765,760	6.1					
市 債 入 金	957,500	7.6					
歳 入 合 計	12,596,600	100.0	歳 出 合 計	12,596,600	100.0		

資料: 総務課

33. 一般会計歳入歳出決算

■ 歳 入

平成 11 年度 (単位:千円・%)

科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率
市 税	3,525,559	3,400,378	96.4
地 方 譲 与 税	166,000	166,568	100.3
利 子 割 交 付 金	34,000	41,279	121.4
地 方 消 費 税 交 付 金	269,000	269,892	100.3
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	4,000	2,564	64.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	116,000	116,847	100.7
地 方 特 例 交 付 金	88,031	88,031	100.0
地 方 交 付 税	3,989,974	3,989,974	100.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,500	6,728	89.7
分 担 金 及 び 負 担 金	377,869	377,570	99.9
使 用 料 及 び 手 数 料	132,623	124,191	93.6
国 庫 支 出 金	1,473,083	1,400,020	95.0
県 支 出 金	1,201,547	1,165,608	97.0
財 産 収 入 金	25,016	25,887	103.5
寄 附 金	2,150	2,150	100.0
繰 入 金	971,615	969,364	99.8
繰 越 金	666,055	666,054	100.0
諸 収 入 金	803,994	606,732	75.5
市 債 入 金	1,112,500	927,200	83.3
歳 入 合 計	14,966,516	14,347,037	95.9

■ 歳 出

(単位:千円・%)

科 目	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
議 会 費	169,088	166,579	98.5
総 務 費	2,673,796	2,484,307	92.9
民 生 費	3,144,036	3,120,428	99.2
衛 生 費	1,497,722	1,368,599	91.4
労 働 費	239,757	239,261	99.8
農 林 水 産 業 費	996,086	905,757	90.9
商 工 費	664,069	458,874	69.1
土 木 費	2,894,988	2,571,217	88.8
消 防 費	318,548	312,620	98.1
教 育 費	1,044,082	1,029,331	98.6
公 害 復 旧 費	271,598	271,152	99.8
公 債 費	1,050,032	1,048,938	99.9
諸 支 出 金	-	-	-
予 備 費	2,714	-	-
歳 出 合 計	14,966,516	13,977,063	93.4

資料:総務課

34. 特別会計等予算 (当初) 平成 12 年度 (単位:千円)

会 計 別	予 算 額
特 別 会 計	
温 泉 セ ン タ ー 特 別 会 計	102,472
市 有 林 造 成 事 業 特 別 会 計	111,680
育 英 資 金 特 別 会 計	39,800
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2,193,069
老 人 保 健 特 別 会 計	3,617,872
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	246,339
都 市 計 画 土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計	71,397
下 水 道 事 業 特 別 会 計	1,822,191
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	219,567
介 護 保 険 特 別 会 計	1,609,296
公 営 企 業 会 計	
水 道 事 業 会 計	1,201,963

資料:総務課

35. 特別会計等歳入歳出決算 平成 11 年度 (単位:千円)

会 計 別	歳 入	歳 出
特 別 会 計		
温 泉 セ ン タ ー 特 別 会 計	103,621	103,621
市 有 林 造 成 事 業 特 別 会 計	47,659	46,705
育 英 資 金 特 別 会 計	48,554	31,858
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2,261,758	2,144,988
老 人 保 健 特 別 会 計	3,733,438	3,757,028
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	272,625	278,985
都 市 計 画 土 地 区 画 整 理 業 特 別 会 計	38,884	80,068
下 水 道 事 業 特 別 会 計	2,137,906	2,137,006
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	268,387	268,387
公 営 企 業 会 計		
水 道 事 業 会 計		
{ 収 益 的 収 支	358,121	305,925
{ 資 本 的 収 支	143,516	269,917

資料:総務課

36. 市税負担状況

平成 11 年度 (単位：円)

区 分	市民 1 人当たり負担額	1 世帯当たり負担額
市 税 総 額	124,213	468,481
市 民 税	46,642	175,886
固 定 資 産 税	61,385	231,481
軽 自 動 車 税	1,538	5,871
市 た ば こ 税	5,173	19,509
都 市 計 画 税	8,267	31,178
特 別 土 地 保 有 税	30	114
入 湯 税	1,178	4,442

※市民税については法人市民税を含む。

資料：税務課

37. 市税の納税者数

区 分	市 民 税 (人)				固 定 資 産 税 (人)			軽自動車税 (台)
	個 人		法 人		土 地	家 屋	償却資産	
	均等割	所得割	均等割	法人税割				
平成 7 年度	10,041	13,538	610	304	5,489	8,237	406	12,799
8 年度	10,050	13,432	641	315	5,526	8,332	427	12,579
9 年度	10,139	13,407	654	309	5,575	8,363	412	12,559
10 年度	9,897	12,874	660	277	5,609	8,480	409	12,396
11 年度	9,897	12,874	660	277	5,641	8,549	386	12,313

※市県民税調定法による。

資料：税務課

38. 市有財産の状況

平成 12 年 3 月 31 日現在 (単位：㎡・円)

区 分	土 地	建 物	区 分	土 地
教 育 施 設	337,647.85	74,817.98	山 林	6,903,538.00
福 祉 施 設	13,690.93	10,229.95	砂 防 林	422,332.00
衛 生 施 設	53,068.04	13,323.43	保 安 林	10,483,964.00
商 工 施 設	21,805.20	2,941.61	基 金 { 現金	3,276,580,461
土 木 施 設	3,506,823.96	11,113.57	土地	5,989.40
市 役 所 其 他	22,295.82	22,875.29	有 価 証 券	48,000,000
普 通 財 産	210,797.13	1,035.00	出 資 金	550,394,000
			債 権	447,146,000

資料：総務課